

名前：

今、世界中で、パソコンは使いやすいし、機能も多いし、そして値段も低くなるから、インターネットもどんどん普及はなっている。メールを受け取るのや、資料を集めるのや、おひかニュースを読むのなど、全部は、インターネットができれば、できる。これは不思議なインターネットだ。

私は小さいとき、父は毎朝食事をする前に必ずとりのりの店が新聞を買っていた。朝ご飯を食ってから新聞を読んでいた。そのため、私も「これは行事だ」と考えながら毎日そうしていた。しかし、インターネットが普及の今には、この「行事」は消しつゝある。何かもはやいの今、新聞のスペースはちょっとおおい。私にとって、インターネットはもう情報源になっている。最も大切な

「じゃ、新聞や雑誌のないものはもういらないじゃないか」と主張する人は出てきた。私もその質問をいつも考えている。インターネットは速いし、便利だし、そして紙を使うと

ともいえないから、自然にいいし。しかし、欠点も長短のようにはいっぱい。まず、保存することにはちょっとにくい。インターネットに比べて、新聞と雑誌はプロ一人に作り出され、簡潔なものだ。保存はしやすいだけなく、価値ももっと高い。次は、ミスの問題。インターネットははやいスペースとともミスも多い。スペースの要求のもとで、改訂確認することは無理だ。内容や文字など、どこにも問題がある。そして最後は、自分を買わないか、お店がご飯を待つながら新聞を読むのは楽なことだ。雑誌に好きなものと店を見たら、メモをすることも便利だ。だから、ちゃんと考えたら、新聞と雑誌のない生活はとも考えない。私にとって、これらの存在は絶対必要なものだ。